

指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	難関国公立大学合格に見合う学力の養成	1, 2年での上位者下位者それぞれに向けた講習の実施。3年次での志望大学に併せた個別指導や講習の実施。	三年間を通じ探究的な学びを中心に据えることで、知識偏重ではなく、様々な視点から思考を重ねる機会を授業に設定す
地理歴史及び公民	①問題演習量の確保。 ②マーク式の出題形式に不慣れな生徒への対応。 ③理系生徒の学習態度・学力の維持。	①・②については、春期、夏期、秋期、冬期講習を通して問題演習量を増やすことで解決を図りたい。特に、参加する生徒数を確保することが求められるため、進路指導部や3学年の協力を得ながら実行に移していきたい。③については個々の生徒に対応する必要があるため、3学年の担任と綿密に情報を共有しながら、きめ細やかな対応に努める。	各講習では、共通テスト対策から難関国公立大学の論述対策まで幅広く実施し、生徒のニーズに沿った学習機会を提供する。1・2年生に対しては、フィールドワークの機会を複数設けることで、授業では体験できない学びを提供する。
数学	新カリキュラムにおける観点別評価を適切に行っていく。新共通テスト入試に向けた授業での取り組みを実践指定いく。	テスト小問に観点を振り分け、正答率や得点分布を作成し、科内で共有している。	観点別評価に関しては、パフォーマンス課題を單元ごとに設定し、主体的に学習に取り組む態度の評価に繋げている。
理科	観点別評価	教科会などにおける情報交換	探究活動とのリンク
家庭	衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けさせる。	各授業において、主体的に考えられる設問を設定するなどした。	グループによる討論を取り入れた授業
情報	令和7年共通テストに向け、問題を解く力の向上。	授業内の練習問題取り組み時間を増やした。	例題や練習問題から、その単元の新出単語を理解し、既習内容を踏まえて説明ができるようにした。